

身近な外来生物 アメリカザリガニ

アメリカザリガニは、ウシガエル（特定外来生物）の餌として1927年にアメリカから輸入されたのが始まりです。愛媛県に導入された年代は不明ですが、県内の平野部を中心に広く分布しています。

本県では、他県で報告される本種の大量発生事例はありませんでしたが、近年、局所的に発生量が増えている場所も散見されるようになってきました。

野外で増えると何が困る？

例えば、絶滅危惧種の昆虫が生息しているため池では、昆虫の生息場所や産卵場所である水草環境を破壊してしまい、絶滅に追いやってしまう危険性が高まります。アメリカザリガニの根絶は非常に困難です。



**愛媛県に
ニホンザリガニは
生息していません**

ニホンザリガニは、北海道、青森、岩手に生息する日本固有種で、渓流域に生息しています

**愛媛県立衛生環境研究所
生物多様性センター**